種類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全り	6月は、20日まで続いた緊急事態宣言による飲食店の営業 自粛などの影響により、総入荷量、総取扱金額ともに8%下回 った。
	6月から8月頃にかけては「清流の女王」と呼ばれる鮎(あゆ)が旬を迎え、特に7月の若鮎は骨も柔らかく味も良い。 内臓は取り出す必要がなく下処理が簡単なため、ヒレが焦げ落ちないよう化粧塩を施して、塩焼きにするのが最もおすすめ
	の食べ方である。 栄養価が高く、疲労回復や夏バテ防止にも効果的なため、是 非この時期に旬の鮎を御賞味いただきたい。
鮮	みとなった。 品目別には、ぶり、いさきの入荷量は前年同月を下回り、単 価は上回った。すずき、びんちょうの入荷量は前年同月を上回
冷 凍 2	り、単価は下回った。 冷凍魚の入荷量は前年同月並みとなり、単価は14%上回った。 品目別には、冷さば、冷さけの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は上回った。冷あかえびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。
加工水産物	加工水産物の入荷量は前年同月比で10%下回ったが、単価は4%下回った。 品目別には、塩さば、ちりめんの入荷量は前年同月を下回ったが、需要の伸びがみられなかったことから、単価は下回った。すけそうこの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。

<sup>※</sup> 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	三重,石川で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量
	は前年同月比で54%上回り、単価は31%下回った。
まいわし	千葉,鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量 は前年同月比で40%上回り,単価は20%下回った。
さば	千葉,石川で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月比で6%下回ったが,中小サイズ主体の入荷であったことから,単価は8%下回った。
するめいか	石川で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年 同月比で57%下回り,単価は33%上回った。
太物	総入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は9%上回った。
はも(近)	兵庫、愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は 前年同月比で11%上回り、単価は35%下回った。
けんさきいか	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で60%上回り、単価は13%下回った。

※ 太物:まぐろ,きはだ,めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷さば	入荷量は前年同月比で14%上回ったが、大型サイズの入荷量 の減少による値上がりが影響し、単価は5%上回った。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は10%下回った。
(加工水産物) 塩 さ け	総入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。
身欠にしん	入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は13%上回った。